

平成23年2月

関門航路（早鞆瀬戸地区）整備に伴う船舶航行安全対策調査専門委員会

1 委員会報告書概要

本委員会では、関門航路（早鞆瀬戸地区）の航路整備に伴う潜水探査作業及び浚渫工事等における航行船舶並びに工事作業船の航行安全対策について調査・検討した。

今回の整備は、当該海域のサンドウェーブによって水深が減少している箇所の浚渫及びこのサンドウェーブによる埋没対策を行うものであるが、整備対象海域である早鞆瀬戸地区は、潮流の影響の強い関門航路の中で最も狭隘で船舶交通の輻輳する海域であり、航行船舶及び工事作業船の安全を確保するため、提示された施工計画を基に航行環境、通航船舶と潜水探査作業・浚渫工事中の可航水域の関係等を整理して課題を抽出し、安全性の検討を行った。

特に通航船舶と可航水域の関係等を検討するにあたっては、本整備工事が航路中央付近まで及ぶものであり、かつ、通航船舶が複雑な潮流の影響を受けやすい海域での工事であることから、通航船舶への影響が可能な限り少なく、理解しやすい通航方法を前提とした工事の分割施工と施工手順を検討するとともに、それぞれのケースに対する通航船舶の安全性についてビジュアル操船シミュレータ実験を行って検証した。

安全対策の検討にあたっては、行き会い調整及び作業船の退避が必要となる対象船舶、整備工事に際しての安全管理体制、土運船の運航経路と管理、警戒管理及び情報の円滑な提供体制等について検討した。

更に、整備海域の特性等から、通航船舶に前広に情報提供することが重要であるため、英語での情報提供等が可能な広報船を配備することを提案した。

2 調査等概要

- (1) 調査概要
- (2) 整備計画
- (3) 航行環境
- (4) 既往調査の概要
- (5) 安全性の基礎調査
- (6) ビジュアル型操船シミュレータ検証実験結果
- (7) 安全性の検討
- (8) 航行安全対策